

シンポジウム

『自然資本会計の現状と課題』



森林、海洋、大気などの自然環境は生態系サービスを生み出す「**自然資本**」であり、自然資本と経済は密接な関係があります。自然資本から得られる生態系サービスは経済活動の基盤を支えていますが、自然環境の経済価値が評価されていないために自然資本への投資が適切に行われず、自然資本の劣化が進行しています。

こうした中で、世界的に「**自然資本会計**」に対する関心が高まっています。自然資本会計では、自然資本の価値を定量的に評価し、従来の企業会計や国・自治体の公会計に自然資本を反映することが可能となります。

本シンポジウムでは、「自然資本会計」の構築に向けて、これまでの研究動向を展望するとともに、今後の研究課題や政策課題を明らかにします。

日程：2025年12月8日（月）13:00～16:00

開催方法：オンライン（Zoomウェビナー）

参加費：無料

主催：京都大学農学研究科生物資源経済学専攻

参加登録：以下のサイトより事前に登録

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_EydXkISwRZWzGOYeh8DMwg

お申し込みはこちらから



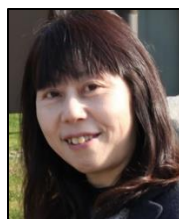
登壇者



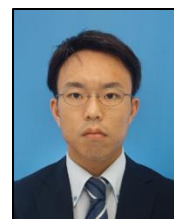
栗山 浩一
（京都大学）



氏川 恵次
（横浜国立大学）



岸上 祐子
（九州大学）



竹中 昂平
（帝塚山大学）

討論者 大澤 晃一（環境省）